

令和5年度 地域情報化アドバイザー制度活用報告書

地域情報化アドバイザー制度の活用実績について、下記のとおり報告します。

記

1. 申請団体情報

1-1. 申請団体

| | | | | | |
|-------|-------------------------|-------|---------|--------------|--|
| 団体名 | 人吉市役所 | | 代表者名 | 松岡 隼人 | |
| 担当者部署 | 復興政策部 | | 連絡先電話番号 | 0966-22-2111 | |
| 担当者役職 | 主事 | 担当者氏名 | 中村 拳也 | 連絡先E-mail | |
| 住所 | 868-8601 熊本県人吉市西間下町7番地1 | | | | |

1-2. 推薦団体（「区分」が「協議会」または「NPO・商工会・大学等」の場合のみ入力）

2. 派遣アドバイザーに対する評価と要望

支援を受けたアドバイザーに対する評価をお願いします。

| | | |
|-----------------------------|--|--|
| アドバイザー | 森戸 裕一 | |
| 評価 | 大変よい | |
| 上記評価の理由（どのようなところがよかったか等詳細に） | スマートシティ推進計画の推進・機運醸成のため、事例・アイデアコンテストの開催を行う本市において、取組意識のもとに提案された職員・民間企業へのアドバイスを依頼できた。 | |
| アドバイザーへの要望事項 | 特になし | |

3. 地域情報化アドバイザー派遣実績

| 3-1. 対応日・時間 | 派遣日予定日（申請書より） | 支援内容（申請書より） | 期日・支援内容の変更あり | WEBでの手続き日 | 受付番号 |
|-------------|---------------|-------------|--------------|------------|----------|
| | 令和6年2月26日 | 講演(実地) | 有 | 令和5年11月8日 | 1013 |
| | 実施した派遣日 | 実施した支援内容 | 開始時刻 | 終了時刻 | 内休憩時間（分） |
| | 令和5年11月22日 | 支援・助言（実地） | 13時00分 | 17時00分 | |
| | | | | 活動時間（分） | 240 |
| 3-2. 派遣場所 | 会場名 | 人吉市役所 | 最寄駅 | 鹿児島空港→人吉IC | |
| | 所在地 | 人吉市西間下町7番地1 | 最寄駅からの交通手段 | | |

4. 報告書に関しての地域情報化アドバイザーホームページ「派遣事例」への掲載許可

| | | |
|------|---------------------------|---|
| 掲載許可 | <input type="radio"/> 掲載可 | https://www.r-ict-advisor.jp/cases-case-good-practices/past-year-all-houkoku/ |
|------|---------------------------|---|

5. 依頼内容及び支援を受けたことによる成果・効果

| | | |
|--|---|-----|
| 5-1. 支援を受けた対象者 | 属性（職員、一般、企業等）について【自由記述】 | 人数 |
| | 職員・企業 | 32人 |
| 5-2. 支援を受けるにあたって目指した成果と実勢に支援を受けたことで改善又は解決した成果・効果 | | |
| 事業の課題・問題点（具体的にご記入下さい） | 令和5年3月に人吉市スマートシティ推進計画を策定した。スマートシティの推進においては、あらゆる分野において、民間事業者の活力を職員が伴走して支援していくことが重要となる。本市においては、推進計画の策定が昨年度であり、機運醸成のためのコンテストを開催することとなったが、スマートシティ/DXへの認識が浅く、ただのデジタル化・IT化の提案も見られた。 | |
| 支援により目指す成果（具体的にご記入下さい） | スマートシティ/DXに関する理解が全庁的に広がり、全職員が共通認識のもと市民に優しいデジタル化、デジタル化の先に何があるのかを具体的事例を通して、認識する。また、民間企業等がデジタル技術を活用し、人吉市ならではの地域課題を解決していく。 | |
| アドバイザーに支援を受けた内容（具体的にご記入下さい） | スマートシティ/DXとは、デジタル技術の導入にとどまらず、その先に何があるのか、何があるべきか。また民間企業においても、自社ソリューションの提案にとどまらず人吉市のために、どのようなことが出来るのかを提案いただき、そこに市としてどう向き合っていくべきか、というアドバイスをいただいた。 | |

| | | |
|---|---|-------------------------|
| 支援を受け改善又は解決された内容 (具体的にご記入下さい) | デジタル技術によって、生み出される時間・サービスをどう本来業務、本来業務+αに活かしていくべきか。ただの効率化ではなく、スマートシティ/DXの本来の意味を提案へのアドバイスを通して学ぶことができた。 | |
| 具体的な成果物 | 最も当てはまるものをリストより選択下さい。 | ⑥途中段階であり、具体的な成果物はできていない |
| 改善又は解決されなかった内容 持ち越しとなった内容 (具体的にご記入ください) | 市職員もしくは民間企業がコンテストに挑んだ経緯や、応募内容、そして事業案ベースのものにはこれからどうしたら事業案等をしっかり進めていけるのか、また実施済事業を応募いただいた企業には、さらなる取り組みに向けたマインドセットをどうやっていくべきかというアクションプラン的なアドバイスを含めて講演【=講評やアドバイス等】 | |
| アンケートの内容と分析結果 | 講演・セミナー又は個別の事業支援の実施にあたりアンケートを行った場合は、その内容と分析結果についてご記入下さい。(EXCELやPDFでの分析結果を添付されても結構です。)アンケートを行わなかった場合はその理由をご記入下さい。 講演・セミナーといった統一したの題目による支援ではなく、定量的な効果が得られないため。 | |
| 5-3. 今後の計画 | 最も当てはまるものリストより選択下さい | ①予算は確保済みであり、年度内に推進する |
| 事業の最終的な目指す姿 | 市民に優しいデジタル化を推進し、市民幸福向上を目指すため、職員全てにスマートシティや自治体DXに関する共通理解の形成ができ、地域の企業等が地域課題解決型ビジネスにチャレンジしている姿。 | |

なおくその他>を選択した場合、具体的な記入が必要となりますのでご注意ください

6. 地域情報化アドバイザー支援の様子

今回の派遣における地域情報化アドバイザーの支援の様子がわかる「写真(JPEG)」を次ページに数枚程度貼り付けて下さい。

